



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ユニマツ リタイアメント・コミュニティ
 コード番号 9707 URL <http://www.unimat-rc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川 清彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 寺坂 淳 (TEL) 03-5413-8228
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	43,112	4.3	2,768	△5.6	2,304	△8.9	1,192	△45.8
2019年3月期第3四半期	41,345	14.7	2,932	29.2	2,529	42.3	2,200	22.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,249百万円 (△39.2%) 2019年3月期第3四半期 2,054百万円 (19.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	138.69	—
2019年3月期第3四半期	255.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	57,538	17,591	30.6	2,045.98
2019年3月期	54,778	16,531	30.2	1,922.68

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 17,591百万円 2019年3月期 16,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,360	4.6	3,793	7.0	3,178	7.0	2,180	△20.1	253.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) ー、除外 一社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	8,598,912株	2019年3月期	8,598,912株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	928株	2019年3月期	791株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	8,598,048株	2019年3月期3Q	8,598,354株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 10
3. その他	P. 10
継続企業の前提に関する重要事象等	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

介護業界は高齢者の人口増加に伴い、要介護認定者数も増加の一途をたどる一方で、約800万人ともされる団塊の世代が75歳以上となる2025年においては、介護人材は37.7万人不足すると推計されています。政府は、深刻化する人手不足に対応するため、生産性向上や国内人材の確保のための取組みを行ってもなお人材を確保することが困難な状況にある産業上の分野において、一定の専門性・技能を有する外国人材を受け入れる制度として、2019年4月に新たに創設した在留資格「特定技能」を施行しました。また、厚生労働省は、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる仕組み「地域包括ケアシステム」の構築を推進しております。このような経営環境の下、当社は持続的な成長を続けていくため、当社の代表的なビジネスモデルである複合型介護施設の運営力と収益力の更なる強化を図るとともに、既存施設との連携をも視野に、自宅にしながらして施設並みのサポートを受けることができる、定期巡回・随時対応型訪問介護看護「そよ風定期巡回」の新規開発を進めております。また、深刻化する人手不足への対応や介護人材の確保・育成のため、当社100%子会社の「株式会社ユニマツト スタッフカンパニー」による医療介護系有料職業紹介事業の活用や、ICT化の推進などによる業務の効率化、入社後の社員に対する教育研修体制の強化によるフォローの充実化を図るなど、働きやすい職場環境作りにも継続的に取り組むとともに、外国人材の受け入れ態勢の整備にも取り組んでおります。更に新たな事業展開として、2019年4月に食事宅配サービス「食のそよ風」、6月に介護保険デイサービスと保険外リハビリサービス、就労支援を組み合わせた同時一体施設「ウェルビスタ ケアスタジオ」、11月にがんや難病の看取りに特化した複合施設「西上尾ホスピスケアそよ風」の展開を開始しました。今後も積極的に事業領域を拡大するための新たな事業の推進を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間におきましては、主力事業である介護事業において、新規施設の売上への寄与や既存施設の稼働率及び入居率の向上、また、飲食事業においては、レストラン事業の業容の拡大を図るとともに株式会社ユニマツトプレシャスより、新たに6店舗のレストランを譲受したことにより、売上高は431億1千2百万円(前年同期比17億6千6百万円増)となりました。一方で、介護事業においては、人件費や広告宣伝費、修繕費、システム投資費等が増加、また飲食事業においては、人件費、運搬配送費、工場の修繕費等の増加により、営業利益は27億6千8百万円(前年同期比1億6千4百万円減)、経常利益は23億4百万円(前年同期比2億2千4百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億9千2百万円(前年同期比10億8百万円減)となりました。セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[介護事業]

介護事業におきましては、当第3四半期連結累計期間において、介護サービス拠点は、直営で294拠点となり、提供するサービス事業所は、620事業所(2019年12月末現在)となりました。ICT化の推進によるシステム投資費用、及び新規施設の開設や新規事業の開始に伴う人件費や広告宣伝費等の初期投資費用、また、経年による既存施設における修繕費等が増加したものの、既存施設の稼働率及び入居率が向上したことに加えて、新規施設の開設に伴う売上が堅調に推移したことにより、売上高は375億5千1百万円(前年同期比17億3千7百万円増)、営業利益は41億4千2百万円(前年同期比4千7百万円増)となりました。

[飲食事業]

飲食事業をおこなう、連結子会社の株式会社ユニマツトキャラバン当第3四半期連結累計期間においては、レストラン事業において2019年4月に新業態の「酒舗 らくだ」を新規開設し業容の拡大を図るとともに、2019年6月には株式会社ユニマツトプレシャスより、新たに6店舗のレストランを譲受したことにより、売上高は、内部売上高を含めて55億2千5百万円(前年同期比6千6百万円増)となりました。一方で、販売戦略分析に基づいた購買・仕入の選別と集中による原価低減を図りましたが、人手不足等による人件費や運搬配送費の高騰、また老朽化した工場の修繕費の増加等により、営業利益は7百万円(前年同期比7千6百万円減)となりました。

[その他の事業]

不動産賃貸事業及び連結子会社による有料職業紹介事業などその他の事業の売上高は、内部売上高を含めて3億7百万円(前年同期比1億2千6百万円増)、営業利益は4百万円(前年同期比2千万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は575億3千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ27億5千9百万円の増加となりました。

負債は、399億4千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ17億円の増加となりました。

純資産は、175億9千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ10億5千9百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,130,105	10,615,718
受取手形及び売掛金	7,158,442	7,930,146
商品及び製品	290,210	264,926
原材料及び貯蔵品	145,845	163,259
その他	2,021,915	2,495,566
貸倒引当金	△53,977	△55,788
流動資産合計	19,692,542	21,413,829
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,777,827	15,665,726
土地	5,865,088	5,874,589
リース資産(純額)	6,369,898	6,151,007
その他(純額)	2,911,907	1,662,375
有形固定資産合計	27,924,721	29,353,699
無形固定資産		
のれん	1,632,194	1,603,929
その他	534,124	717,263
無形固定資産合計	2,166,319	2,321,192
投資その他の資産		
差入保証金	710,179	653,610
敷金	2,289,120	2,327,766
その他	2,119,008	1,545,179
貸倒引当金	△123,007	△76,408
投資その他の資産合計	4,995,300	4,450,147
固定資産合計	35,086,340	36,125,039
資産合計	54,778,883	57,538,869

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,517,519	1,702,244
短期借入金	450,000	450,000
1年内償還予定の社債	800,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	4,582,356	3,152,737
リース債務	197,148	204,235
未払法人税等	251,394	198,105
賞与引当金	568,039	278,300
その他	3,925,761	4,754,087
流動負債合計	12,292,219	10,819,710
固定負債		
社債	300,000	1,120,000
長期借入金	13,392,489	15,889,205
リース債務	7,554,200	7,400,123
長期預り保証金	1,912,098	1,818,345
役員退職慰労引当金	39,716	45,979
偶発損失引当金	20,442	23,881
退職給付に係る負債	1,549,941	1,596,955
資産除去債務	647,865	726,085
その他	538,460	507,321
固定負債合計	25,955,214	29,127,898
負債合計	38,247,434	39,947,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,122,974	8,122,974
利益剰余金	8,301,234	9,304,517
自己株式	△1,240	△1,458
株主資本合計	16,522,968	17,526,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,510	92,310
繰延ヘッジ損益	△5,145	△3,808
退職給付に係る調整累計額	△37,884	△23,273
その他の包括利益累計額合計	8,480	65,227
純資産合計	16,531,448	17,591,260
負債純資産合計	54,778,883	57,538,869

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	41,345,328	43,112,275
売上原価	32,726,133	33,720,309
売上総利益	8,619,195	9,391,966
販売費及び一般管理費	5,686,399	6,623,705
営業利益	2,932,796	2,768,260
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,685	10,238
受取手数料	29,271	16,961
貸倒引当金戻入額	9,185	2,335
受取損害賠償金	14,592	—
受取保険金	27,608	50,341
その他	43,506	52,817
営業外収益合計	131,849	132,695
営業外費用		
支払利息	431,957	416,610
その他	103,305	179,525
営業外費用合計	535,263	596,135
経常利益	2,529,382	2,304,820
特別利益		
固定資産売却益	—	36
投資有価証券売却益	14,954	—
補助金収入	6,774	27,931
受取補償金	—	34,197
その他	465	1,147
特別利益合計	22,194	63,312
特別損失		
固定資産除却損	29,329	35,901
固定資産圧縮損	6,750	25,660
減損損失	32,545	—
その他	1,200	19,410
特別損失合計	69,825	80,972
税金等調整前四半期純利益	2,481,751	2,287,160
法人税、住民税及び事業税	171,514	207,420
法人税等調整額	109,253	887,298
法人税等合計	280,768	1,094,719
四半期純利益	2,200,983	1,192,441
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,200,983	1,192,441

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,200,983	1,192,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△167,579	40,800
繰延ヘッジ損益	961	1,336
退職給付に係る調整額	19,869	14,610
その他の包括利益合計	△146,748	56,747
四半期包括利益	2,054,234	1,249,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,054,234	1,249,188
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月15日 取締役会	普通株式	154,774	18.0	2018年3月31日	2018年6月11日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月15日 取締役会	普通株式	189,158	22.0	2019年3月31日	2019年6月10日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	介護事業	飲食事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	35,813,625	5,437,980	41,251,606	93,722	41,345,328	—	41,345,328
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	20,297	20,297	87,697	107,995	△107,995	—
計	35,813,625	5,458,278	41,271,903	181,420	41,453,324	△107,995	41,345,328
セグメント利益	4,094,586	83,696	4,178,283	24,666	4,202,949	△1,270,153	2,932,796

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産分譲事業、不動産賃貸事業、有料職業紹介事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,270,153千円は、セグメント間取引消去等3,995千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,274,149千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	介護事業	飲食事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	37,551,242	5,436,484	42,987,727	124,548	43,112,275	—	43,112,275
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	88,562	88,562	183,196	271,759	△271,759	—
計	37,551,242	5,525,047	43,076,290	307,745	43,384,035	△271,759	43,112,275
セグメント利益	4,142,482	7,129	4,149,611	4,428	4,154,040	△1,385,779	2,768,260

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、有料職業紹介事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,385,779千円は、セグメント間取引消去等8,348千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,394,127千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。